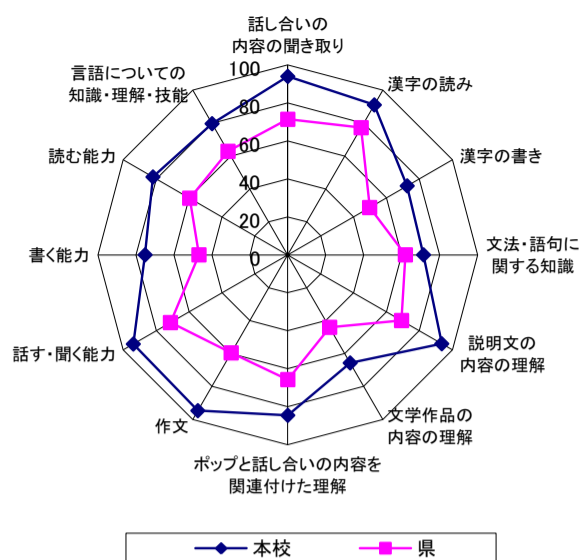


宇都宮東高等学校附属中学校第2学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の県と本校の状況

		本年度		
		本校	県	
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	93.9	71.3	
	漢字の読み	91.1	77.3	
	漢字の書き	72.6	49.7	
	文法・語句に関する知識	71.5	61.9	
	説明文の内容の理解	93.6	69.2	
	文学作品の内容の理解	65.7	44.1	
	ポップと話し合いの内容を関連付けた理解	84.5	65.7	
観点別	作文	94.7	59.6	
	話す・聞く能力	93.9	71.3	
	書く能力	75.1	46.8	
	読む能力	82.0	59.6	
		言語についての知識・理解・技能	79.7	62.9



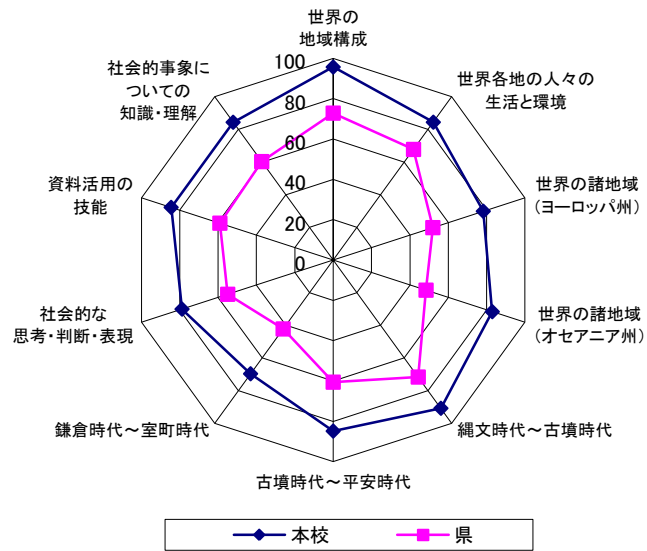
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	非常によくできている。	聞き手に理解してもらうための話の構成や話し方の工夫を理解しているという内容が問題の中ではやや低かったので重点的に指導していく。
漢字の読み	非常によくできている。	第1学年までに学習した漢字の読みの中でやや読めないものがあったので重点的に指導していく。
漢字の書き	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	第1学年までに学習した漢字の書きの中で6割近くの生徒しか書けないものがあった。漢字の書きについては指導を強めていきたい。
文法・語句に関する知識	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	単語について理解しているという問題で全体的に理解していないという結果が出たので、単語分けや品詞の見分け方について復習するなどせ指導を強めていきたい。
説明文の内容の理解	非常によくできている。	文章の展開に即して内容をとらえることができるという内容と文章の構成や展開をとらえることができるという内容がやや低かったので重点的に指導していく。
文学作品の内容の理解	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	登場人物の心理描写に注意して読み、心情を正確にとらえることができるという問題で正答率が低かった。理解もさることながら記述で答える問題だったので、今後は記述力を上げるような指導に力を入れていきたい。
ポップと話し合いの内容を関連付けた理解	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	意見をもとに2つのポップを見比べて、必要に応じて文章を書き足すことができるという問題で正答率が低かった。理解もさることながら記述で答える問題だったので、今後は記述力を上げるような指導に力を入れていきたい。
作文	非常によくできている。	詩の表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考え方を書くことができるという内容だったが全体的に良くできている。苦手だった生徒には個別に指導をしていきたい。

宇都宮東高等学校附属中学校第2学年【社会】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の県と本校の状況

		本年度	
		本校	県
問題の内容別	世界の地域構成	95.7	72.8
	世界各地の人々の生活と環境	84.5	67.8
	世界の諸地域(ヨーロッパ州)	78.2	51.9
	世界の諸地域(オセアニア州)	82.9	48.4
	縄文時代～古墳時代	90.9	71.7
	古墳時代～平安時代	84.8	60.6
	鎌倉時代～室町時代	69.7	42.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	78.8	55.0
	資料活用の技能	84.5	59.1
	社会的な事象についての知識・理解	84.4	60.3



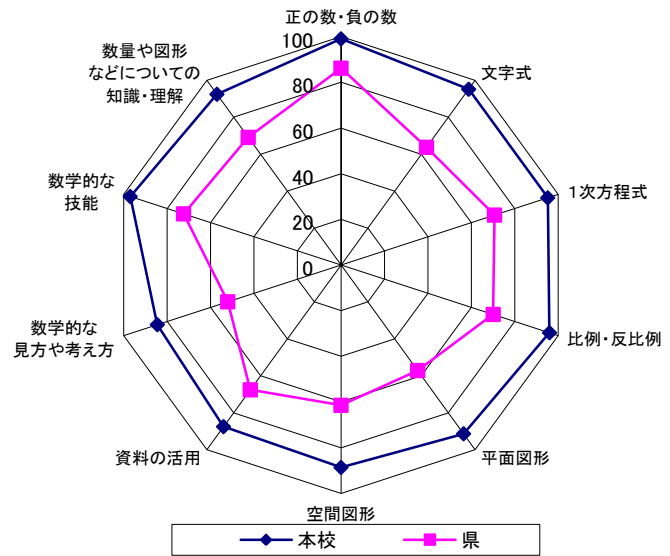
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
世界の地域構成	非常によくできている。	よく理解しているが、世界の略地図を描かせるなどして、頭の中に世界の地域構成がイメージできるようにする。また、正しい赤道の位置を理解させる。
世界各地の人々の生活と環境	おおむね理解できている。	雨温図や人々の住居についての正答率が低かったので、気候と住居の因果関係を踏まえながら、視覚教材等を利用して理解させていく。
世界の諸地域(ヨーロッパ州)	おおむね理解できている。	ヨーロッパの国々の位置と名称について、正答率が低かったので繰り返し指導していく。
世界の諸地域(オセアニア州)	よく理解している。	複数の資料を読み取る問題では正答率が低かったので、資料の読み取り及び、表現力の向上を図れるよう指導していく。
縄文時代～古墳時代	非常によく理解している。	稲作が始まる以前の人々の様子について、正答率が低かったので、新石器時代と旧石器時代を比較しながらとらえさせていく。
古墳時代～平安時代	よく理解している。	太子が目指した政治について理解が低かったので、当時の東アジア情勢や豪族の動きなどをとらえさせた上で、太子が行った政治について理解させる。
鎌倉時代～室町時代	十分に理解していない。	中世の経済について十分に理解していないことから、当時の絵画資料を読み取ることを通して理解させていく。また、中世の史実の順番について十分な理解に至っていないことから、史実の因果関係をとらえさせていく。

宇都宮東高等学校附属中学校第2学年【数学】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の県と本校の状況

		本年度	
		本校	県
問題の内容別	正の数・負の数	99.0	86.2
	文字式	95.1	63.7
	1次方程式	95.2	70.7
	比例・反比例	96.0	70.1
	平面図形	91.3	57.1
	空間図形	88.7	61.4
	資料の活用	87.5	67.6
観点別	数学的な見方や考え方	84.6	52.1
	数学的な技能	97.1	72.5
	数量や図形などについての知識・理解	92.4	69.1



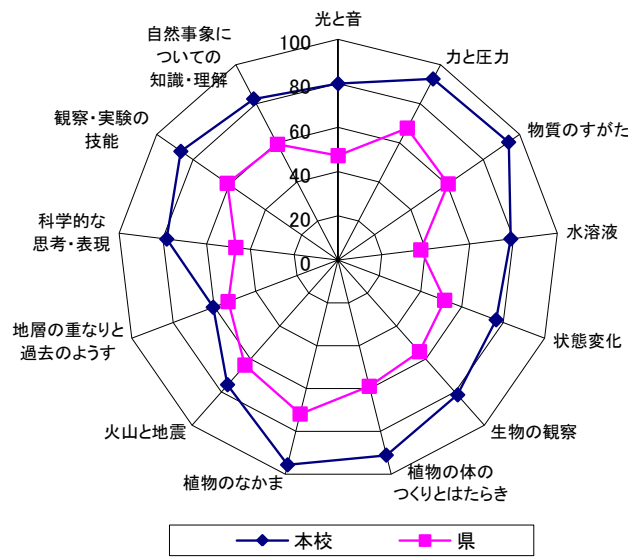
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
正の数・負の数	非常に良くできている。	100%めざして、指導していく。
文字式	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	数学的に表現された結果から、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明することができない生徒がやや多いので、その点を修正していきたい。
1次方程式	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	文章から1次方程式を立式することが苦手な生徒がいるので、しっかり指導していきたい。
比例・反比例	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	反比例の関係についてその内容があやふやな生徒が多かった。もう一度内容を確認させたい。
平面図形	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	対称移動、回転移動を組み合わせた移動について、あやふやな生徒がいるので、よく確認させたい。
空間図形	良くできているが、球と円柱の体積についての正答率が57.7%と最低である。	球と円柱の体積について、内容を理解できていない生徒が多い、よく確認させたい。
資料の活用	良くはできているが、正答率が一番低い内容である。	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できない生徒が多い。資料の活用について再確認が必要である。

宇都宮東高等学校附属中学校第2学年【理科】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の県と本校の状況

		本年度	
		本校	県
問題の内容別	光と音	79.9	47.3
	力と圧力	92.6	67.5
	物質のすがた	93.9	60.6
	水溶液	78.8	37.7
	状態変化	76.6	51.6
	生物の観察	81.7	55.6
	植物の体のつくりとはたらき	91.2	59.0
	植物のなかま	95.7	72.0
	火山と地震	75.6	63.7
	地層の重なりと過去のようす	60.6	53.4
観点別	科学的な思考・表現	78.2	46.7
	観察・実験の技能	86.6	61.1
	自然事象についての知識・理解	82.4	59.2



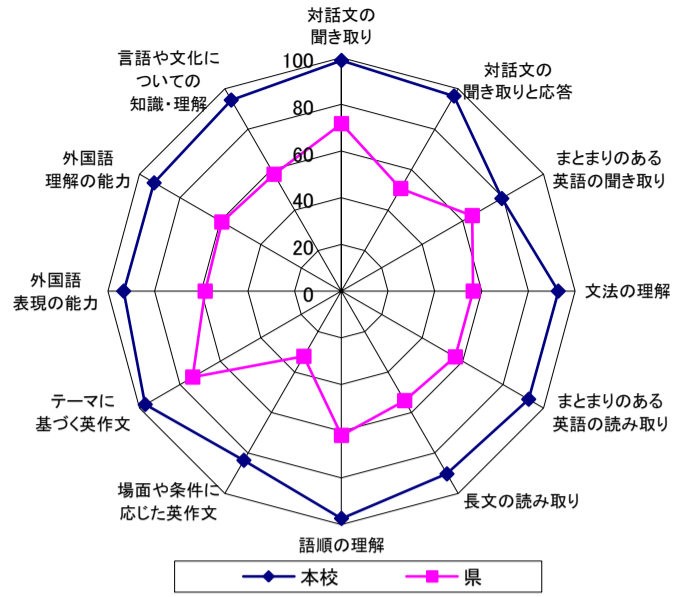
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
光と音	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	音を波形で表したときに、振幅や音の高低に関わる振動数がどのようにあられ、読み取ればよいのかについて理解が不十分などところがある。 弦を用いた実験に関する項目は非常によくできており、音の性質については理解していると考えられるので、別の手段での分析方法についても、実験と比較しながら対比させて理解を深めさせる。
力と圧力	非常に良くできている。	水圧について理解が甘いようなので、実験において視覚的・体験的に確認させ、理解を深めさせる。
物質のすがた	非常に良くできている。	密度については、実験・観察を多く取り入れたため、理解も深まっていたと考えられるので、今後もそのような取り組みにつとめていく。
水溶液	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	濃度の算出を苦手としている生徒もいるため、公式の意味合いも考えさせつつ、計算自体はドリル学習を用いて身につけさせる。
状態変化	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	実験結果から考察を導くというのは比較的できるが、与えられた条件下ではどうなるか、頭の中で実験を行って結果を出すことが少々苦手な傾向が見られる。 実験前の予想や、実験後の考察で条件を変えた場合どうなるかと考えさせる場面を増やし、さらに力をつけさせたい。
生物の観察	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	顕微鏡については、しばらく触れておらず記憶が薄れている部分もあるようなので、使用頻度の高い実験器具に関しては、使わない時期が続いた場合、振り返りができるようにスキルテストなどを実施し、技術の維持を目指す。
植物の体のつくりとはたらき	非常に良くできている。	理解度は高いが、蒸散量を求めるなど、数的な分析が苦手などところがある。実験や観察などで、色や性質の変化だけに着目させるのではなく、数的に分析させるような方法も合わせて経験させ、さらに力を伸ばしていきたい。
植物のなかま	非常に良くできている。	植物のなかま分けについては十分理解されている。動物分野でも同様ななかま分けがあるので、今後の学習にもつなげていく。
火山と地震	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	地震に関する項目で理解が不十分であった。 学習の予定が押ししてしまったため、じっくりと時間をかけて指導できなかったためであると考えられるので、時間を十分に確保し、ていねいに指導していく。
地層の重なりと過去のようす	正答率が一番低い内容であり、十分に理解されていない項目がある。	代表的な示準化石・示相化石の例が頭に入っていない生徒が多い。ただ暗記するだけでなく、それぞれの生物の特徴に触れ、イメージをつける。 また、地層はその時代に何が生息していたか、どんな活動があったのかという端的な情報だけでなく、その場所の長期的な変動についても知ることができる。グループワークなどを通して様々な意見を交換させ、想像力を身につけさせる。

宇都宮東高等学校附属中学校第2学年【英語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の県と本校の状況

		本年度	
		本校	県
問題の内容別	対話文の聞き取り	98.8	71.7
	対話文の聞き取りと応答	96.5	50.8
	まとまりのある英語の聞き取り	79.3	64.7
	文法の理解	92.9	56.4
	まとまりのある英語の読み取り	92.6	56.3
	長文の読み取り	90.4	54.1
	語順の理解	97.4	61.8
	場面や条件に応じた英作文	83.7	32.2
	テーマに基づく英作文	97.1	73.6
	外国語表現の能力	93.3	58.4
観点別	外国語理解の能力	92.7	59.2
	言語や文化についての知識・理解	94.5	57.8



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
対話文の聞き取り	非常に良くできている。	聞くポイントを与えて英語を聞かせ、さらに向上するよう指導を継続する。
対話文の聞き取りと応答	非常に良くできている。	ALTとの会話やペアワーク等の活動で、応答の仕方を指導していく。
まとまりのある英語の聞き取り	良くできているが、正答率が一番低い内容である。	聞こえてきた情報が複数ある場合に、先に聞こえた情報に引きずられて解答してしまう傾向がある。普段からその点に気をつけて聞き取るよう指導していく。また、語と語の連結による音の変化に留意して指導していく。
文法の理解	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	疑問詞の文の基本的な用法に注意深く答えられるよう指導していく。
まとまりのある英語の読み取り	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	文章の内容は読み取れているが、解答の際にミスをしている。基本的な語の綴りもおろそかにしないよう指導していく。
長文の読み取り	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	まとまりのある文章を読んで、大まかな流れをつかむとともに、中心となる大切なことを的確に読み取ることができるよう指導の機会を増やしていく。
語順の理解	非常に良くできている。	様々な英語にふれ、より理解を深められる指導を継続する。
場面や条件に応じた英作文	良くできているが、正答率がやや低い項目がある。	疑問詞を用いた疑問文の正答率がやや低い。適切に用いることができるよう繰り返し指導していく。
テーマに基づく英作文	非常に良くできている。	自分の意見や、経験から学んだことなどを表現する機会を設定し、表現力の向上につなげていきたい。